



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和7年 3月31日

企業・団体名 川原工業株式会社

代表者名 取締役社長 川原 和明

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和6年7月24日～令和7年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 現場発生品等を廃棄物にせず、再利用することでエネルギー循環社会に貢献する。</p> <p>【実施状況】 1. 「令和6年度庄川維持管理作業」における河川機能維持のための河川敷樹木伐採で発生した伐採木でキノコ屑木、薪ストーブ燃料として活用できるよう、約4,000本の薪(平均φ150L=1.0m)を作成し令和7年6月6日一般に配布予定。 2. 「ほ場整備島地区ほ場整備第6工区工事」において4.6hrの農地を大型区画に整地し、農業生産力の向上に寄与した。 3. 令和6年4月～令和7年3月までの期間、弊社各工事現場で使用したコンクリートの再生資源使用率95%、砕石の再生資源使用率87% 現場で発生したコンクリートの再生資源工場搬出率100%、アスファルト再生資源工場搬出率100%、発生土再生資源工場搬出率100%、金属再生資源工場搬出率100%を達成した。目標はおおむね達成されている。</p>
2	<p>【目標】 公共建造物の建設と維持管理で人と暮らしを守る。</p> <p>【実施状況】 1. 各工事現場でPDCA活動や創意工夫を行い、適切に高品質の工事を完成させ、国土交通省、富山県土木部・農地林務部、射水市発注の工事すべてにおいて80点以上の評点を獲得し、高品質で長寿命な構造物を生産していると評価できる結果となっている。 2. 能登の地震や大雨被害において、国土交通省所有の照明車(電源車)や給水車の管理運営を担当し、復旧・復興の一助となる活動を行った。 さらに、河川維持管理作業等の業務の中で災害対策車の運転技術の向上のための訓練にも参加し、災害時等に活躍できる体制の維持に努めた。目標は達成されている。</p>
3	<p>【目標】 社員の教育と技術の継承で地域の暮らし向上を目指す。</p> <p>【実施状況】 1. 河川点検士2名資格更新。その他河川維持管理に関係する講習をのべ10人受講し、当社の河川管理レベルの向上に努めている。 2. 自動操縦型ドローンやサイトテック・サイトスコープ等のITC施工管理に必要な機材やソフトを購入し、講習等の受講によりDXを活用できる人材の教育を行っている。目標はおおむね達成されている。</p>